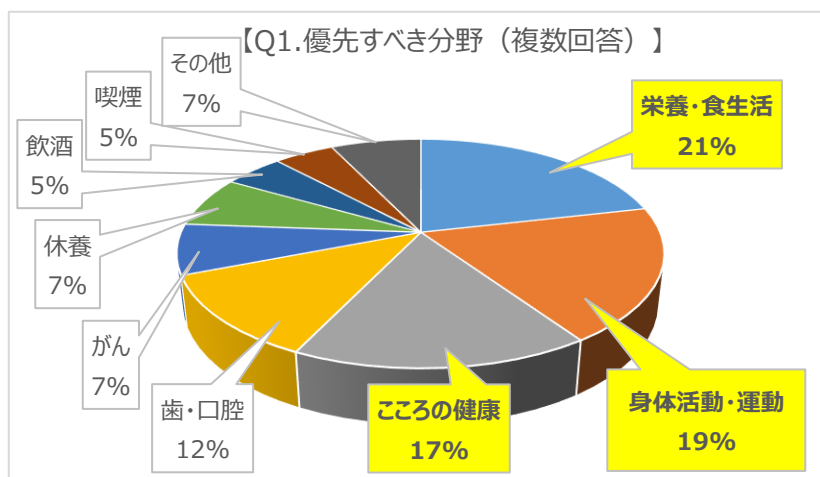


## 「地域・職域連携の取組検討におけるアンケート」のとりまとめ結果 <概要>

### Q1 地域・職域連携の取組を進めていく上での優先すべき分野について（複数回答）

#### ■各分野の回答数 ※ [ ] 内の数字は回答の合計数

栄養・食生活 [ 9 ] 、  
 身体活動・運動 [ 8 ] 、  
 こころの健康 [ 7 ]  
 歯・口腔 [ 5 ] 、  
 がん [ 3 ] 、休養 [ 3 ] 、  
 飲酒 [ 2 ] 、喫煙 [ 2 ] 、  
 その他（社会参加・フレイル・風疹  
 抗体検査） [ 各 1 ]



#### ■主な意見

- ・地域・職域連携の取組を政策的に活かしていくためには、働き盛り世代へのアプローチが重要。特に、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養」の分野は、優先すべき取組であり、ヘルスリテラシーの強化が必要。
- ・がんの分野では、職域における両立支援や、特定健診とがん検診との同時実施、学校教育等でのがん教育の推進が必要。
- ・栄養・食生活の分野では、バランスの良い食事の他、孤食等の対策も必要であり、身体活動・運動の分野とともに、比較的幅広く取組を進めることができる分野でもある。その他、がん予防や歯・口腔ケアとの関連性も考慮しながら取組を進めていく必要。
- ・こころの健康の分野では、職場でのコミュニケーションや地域とのつながりを重要視した取組が必要。
- ・退職前からのフレイル予防の推進も必要。

### Q2 健康づくりの取組を地域と職域が連携して進めるにあたって、貴機関において活用・共有できるリソースについて（複数回答）

#### ■主な意見 ※ ★印は回答が多かったもの

##### ①人材（専門職・民間資格保有者等）

- ・栄養士会や協会けんぽ所属の専門職や健康経営アドバイザー、介護・フレイル予防アドバイザー
- ・地域・職域連携の事業設計の経験を有する人材やマーケティングの観点から指導・相談できる人材

##### ②教材（健康情報を掲載したリーフレット等）

- ・各機関が有するリーフレット等の媒体★
- ・協会けんぽが有する健診結果集計情報

##### ③広報媒体（DM・メールリスト等）

- ・企画内容に適した媒体戦略やネット戦略
- ・DM・メールリスト・HPリンク★

#### ④施設（運動場・研修フロア等）

- ・スポーツ施設での事業連携、学校施設（教室・グラウンド等）

#### ⑤その他（専門的な知見・技術）

- ・地域・職域連携のモデル事業の効果検証における知見・技術
- ・活動量計や室内トレーニング用品、各種スポーツレクリエーション用品、ウォーキング教室等のイベント
- ・20歳未満飲酒防止教育支援ツール
- ・研修会やイベント等★

### Q3(1) 都内で健康経営を広げていくにあたり、現在、貴機関の強みを生かした他機関と連携した取組や、今後、他機関と連携して取り組んでいきたいことについて

#### ■主な意見（現在、他機関と連携している取組）

- ・（職域側）自治体と連携した生活習慣病の発症・重症化予防、フレイル予防等
- ・（職域側）自治体と連携した親子走り方教室、高齢者・女性向けウォーキング教室
- ・（地域側）職域における出張健康づくりセミナー
- ・（地域側）職場のメンタルヘルス対策キャンペーン

#### ■主な意見（今後、連携して取り組んでいきたいこと）

- ・職域健康促進サポート事業の充実に向けた取組（健康経営アドバイザーの教育及び取組支援の効果検証、自社の健康経営のテーマを見つけるためのツールの活用、健診機関など健康づくりに携わる団体との連携強化など）
- ・働く世代の健康状態を把握するためのデータ収集・分析・フィードバックを通じたPDCAサイクルによる事業展開
- ・関係団体（栄養・食生活分野、職場のメンタルヘルス対策など）と連携した取組の推進
- ・専門家を活用した学校における健康教育の充実
- ・フレイル対策（出前講座など、プレシニア世代へのアプローチ）

### Q3(2) 連携した取組を進めるにあたっての課題や、行政（都や区市町村）に求める支援について

#### ■主な意見

- ・健康経営アドバイザーの取組支援の分析を踏まえた事業展開
- ・栄養・食生活に関する取組の参加企業の確保
- ・栄養ケア・ステーション、「栄養問題の二重負荷（過栄養と低栄養の併存）」の認知度アップ
- ・健康経営の取組評価及び活動紹介の充実
- ・各機関が有するツールの横展開（チラシ、e-ラーニング等）

### Q4 その他意見等

#### ■主な意見

- ・都の健康施策に貢献していきたい。
- ・ライフステージにおける正しい栄養情報の提供が必要。
- ・企業により健康経営の取組に温度差があるため、広域的に支援していくとともに、積極的な取組をしている企業のPRを強化することで、健康経営の取組の裾野拡大が期待できる。
- ・西多摩地域にも目を向けてもらいたい。

### 【 考 察 】

- 健康づくりの基本ともいえる「[栄養・食生活](#)」、「[身体活動・運動](#)」、「[こころの健康](#)」分野の取組を中心に、事業を検討していくことが求められており、場合によっては、がん予防、休養、歯の健康、フレイル予防等と[関連づけた施策の展開も効果的](#)と考えられる。
- 地域・職域が保有するリソースについては、具体的な取組を検討していく中で、各機関と[調整しながら、適宜可能な範囲で共有・活用](#)（リーフレット等の健康情報媒体やイベント、HPリンクなど）していく必要がある。
- 健康経営の推進に当たっては、「[職域健康促進サポート事業](#)」の[評価・分析](#)を関係機関と連携しながら行う、[好取組事例を紹介](#)するなど、事業の内容充実につなげていくための手法を確立していくことが重要。